

## 『集中ケア』研修会実施報告

日時 : 平成 29 年 9 月 2 日 (土)

対象者 : 卒後 5 年以上

参加者数 : 43 名 (対象 41 名/一般 2 名)

目的 : 重症者の生体反応の理解を深め、看護ケアに活かすことができる。

### <講師の紹介>

集中ケア認定看護師

2009 年大和高田市立病院入職後、2015 年神奈川県立保健福祉大学実践教育センター急性期重症者支援過程に入学されました。

2016 年集中ケア認定看護師資格を取得され、現在、集中ケア認定看護師として活躍されています。



### <内容>



今回の集中ケア研修では、携帯端末を用いた新しい研修形式で行われました。QR コードから研修生が 1 つの項目に対するアンケートに回答し、アンケート結果をすぐに確認することができました。アンケート結果から、研修生の看護ケアがどのようになされ研修生がどのような考えを持っているかなどが分かり、研修生全員がその結果を共有することができました。

講義では、呼吸数を測定することの大切さから各疾患(敗血症、急性呼吸不全や急性膵炎)の診断基準などを分かり易く教えて頂き、呼吸に対するフィジカルアセスメントに

についても詳しく学ぶことができました。また私たちが行っている看護ケアが、重篤な患者さんには時としてセカンドアタックとなり、より深刻な状況に陥る危険性があることも学びました。このことは、多くの研修生の印象に残ったことが振り返りシートからわかりました。携帯端末を用いた研修についても「近代的」「実践に役立つ研修」「続編を聴講したい」などの感想が述べられていました。今回の研修は日々の看護を向上させると共に、ITを取り入れた画期的な研修となりました。